

所属名	事務事業名	ページ番号
学事課	小学校運営事業	2
学事課	小学校新型コロナウイルス感染症対策事業	3
学事課	学校マネジメント支援経費（小学校）	4
学事課	小学校就学援助事業	5
学事課	特別支援教育就学奨励費（小学校）	6
学事課	通学費補助事業（小学校）	7
学事課	小学校教材整備事業	8
学事課	就学援助受給世帯教育支援給付金支給事業（小学校費）	9
学事課	中学校運営事業	10
学事課	中学校新型コロナウイルス感染症対策事業	11
学事課	学校マネジメント支援経費（中学校）	12
学事課	中学校就学援助事業	13
学事課	特別支援教育就学奨励費（中学校）	14
学事課	通学費補助事業（中学校）	15
学事課	中学校教材整備事業	16
学事課	理科教育振興事業（中学校）	17
学事課	就学援助受給世帯教育支援給付金支給事業（中学校費）	18
学事課	各種健康診断等実施事業	19
学事課	学校環境衛生改善事業	20
学事課	フッ素応用むし歯予防事業	21
学事課	児童生徒安全対策事業	22
学事課	各種体育行事等実施事業	23
学事課	学校体育外部指導者派遣事業	24
学事課	部活動指導員活用事業	25
学事課	学校給食管理運営事業	26
学事課	学校給食物価高騰等対策事業	27
学事課	三瀬小中学校給食提供体制変更経費	28

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	小学校運営事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学校支援係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	教育環境の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校の運営や施設の管理に要する経費（消耗品費、燃料費、光熱水費、備品購入費、修繕料、検査手数料、施設等維持管理委託料、原材料費等）において、各学校の実情に応じた予算編成を行うことで、自主・自律性が発揮できる学校運営を図る。				
事業の対象者	小学校児童				
令和5年度 主な活動実績	全小学校35校の物品の購入、光熱水費の支払い、施設の維持管理等を行い、円滑な管理運営を図った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	421,449	446,306	470,961	446,180	
うち佐賀市の負担額	378,493	443,121	467,496	443,678	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
「児童生徒が楽しく小中学校に通っている」と感じている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
79.5	87.6 81.8	87.6 81.1	87.6 76.8	87.6		

年度	目標	実績
R2	87.6	79.5
R3	87.6	81.8
R4	87.6	81.1
R5	87.6	76.8
R6	87.6	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	各学校の実情に応じた予算編成を行い、さらに学校運営の工夫・努力により水準を保っている。

成果目標達成に向けた対応策等
各学校の実情を把握し、予算編成を行う。またエアコンの使用やタブレットの全児童配布などにより、電気使用料が増加傾向にあるため、光熱水費の節約等、効率的な予算の執行に努める。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	小学校新型コロナウイルス感染症対策事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	学事課 学校支援係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	教育環境の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	小学校の児童が新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に止めつつ、学校教育活動を継続できる環境を維持、学びが保障できる体制の整備のため、感染者及び濃厚接触者の発生や学校における効果的な換気対策に必要な保健衛生用品や備品等の整備を行う。				
事業の対象者	小学校児童				
根拠法令等	学校保健特別対策事業費補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額		42,675	49,382	16,181	
うち佐賀市の負担額		59	144	8,091	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
整備を行った小学校数					校	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
	35	35	35			
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>学校保健特別対策事業費補助金を活用し、主に換気対策に必要な消耗品及び備品等を整備することができた。</p>
--

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	学校マネジメント支援経費（小学校）	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学校支援係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	義務教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校の独自性を高める教育活動に係る事業を学校長からの申請に基づいて教育長が査定を行い、学校長の目標とする特色ある学校経営に資するものについて事業費を配分し、各学校が申請内容に沿った事業を実施するもの。				
事業の対象者	小学校児童				
令和5年度主な活動実績	35校、128事業実施。心づくりプロジェクト、地域との交流事業など。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,814	3,118	2,968	2,291	
うち佐賀市の負担額	3,814	3,118	2,968	2,291	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
「児童生徒が楽しく小中学校に通っている」と感じている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
79.5	87.6 81.8	87.6 81.1	87.6 76.8	87.6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナ感染症対策等により、計画された事業の取りやめや、規模縮小等が完全に復活することはなかったが、現況に応じた変更等や新たな取り組み方法で対応できた。



成果目標達成に向けた対応策等
他校の新たな取り組み事例を紹介するなどして、積極的・効果的にこの事業を活用させる。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	小学校就学援助事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	公平な教育機会の確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	経済的理由によって就学が困難と認められる市内小学生の保護者に対して、必要な経済的支援を行う。（援助費目：学用品費等、新入学用品費、修学旅行費、校外活動費、旅行費、給食費、医療費）				
事業の対象者	小学校に通う児童のうち、経済的理由により就学が困難な児童の保護者				
根拠法令等	佐賀市就学援助規則等				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	120,656	117,500	116,707	112,289	
うち佐賀市の負担額	58,824	32,216	32,434	25,626	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
認定者数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
1,841	1,782	1,758	1,685			
活動実績②					単位	
認定率					%	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
15	14	14	14			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

H30年度から経済状況の変化により認定者数・認定率が減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の影響下においても減少が続いていたが、物価の高騰や光熱費の上昇等により今後増加に転じる可能性がある。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	特別支援教育就学奨励費（小学校）	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	公平な教育機会の確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	特別支援教育を受ける児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じて、特別支援学級への就学に必要な経費を支援する。（援助費目：学用品費・通学用品購入費、新入学児童学用品費、修学旅行、校外活動費、給食費、通学費、交流学习交通費。家計の状況等により対象となる費目が異なる。）				
事業の対象者	特別支援教育を受ける児童の保護者				
根拠法令等	特別支援学校への就学奨励に関する法律等				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	12,974	13,426	15,360	16,533	
うち佐賀市の負担額	6,488	6,713	7,680	8,267	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
特別支援教育就学奨励費を支給した児童数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
441	489	502	583			
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>特別支援学級等へ就学する児童は、年々増加しており、今後も児童数及び支給額が増加することが見込まれる。</p>
---

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	通学費補助事業（小学校）	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	公平な教育機会の確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	富士町、大和町及び三瀬村の山間地域に在住し、遠距離通学を行っている児童の保護者に対してバスの定期券代を補助する。				
事業の対象者	富士町、大和町及び三瀬村の山間地域に在住し、校区の佐賀市立小学校に通学する遠距離通学の児童				
令和5年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学を行っている児童の保護者に対して、バスの定期券代を支給した。（対象校：春日小、松梅小、富士小、北山小、三瀬小）</li> <li>・土曜授業の際、バスを借り上げ運行した。（6/11）</li> </ul>				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,470	5,181	4,294	4,388	
うち佐賀市の負担額	5,470	5,181	4,294	4,388	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
通学費補助支給者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	80 80	80 72	80 72	80		

Year	Target	Actual
R2	80	92
R3	80	80
R4	80	72
R5	80	72
R6	80	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	富士町、大和町及び三瀬村の山間地域に在住し、遠距離通学を行っている児童の保護者に対してバスの定期券代を補助することで、学校の統合により遠距離通学となった児童の教育の機会を確保している。



成果目標達成に向けた対応策等
事業対象者に対する補助金交付手続きに関し、学校との連絡調整を緊密に行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	小学校教材整備事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学校支援係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	教育環境の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	一般教材や音楽教材、体育教材など学校の授業に必要な教材の整備を行い、学校教育の振興及び教育の向上を図る。				
事業の対象者	小学校児童				
令和5年度主な活動実績	全小学校35校の物品の購入等を行い、教材整備を図った。学校独自の判断を取り入れ、各学校の実情や教育計画に応じた予算編成を行いつつ、備品や印刷物の購入においては、共同購入した場合にメリットがあるものについては学事課で一括購入を行い、経費の削減に努めた。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	126,820	81,958	71,396	65,218	
うち佐賀市の負担額	56,973	50,557	53,083	45,893	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
「児童生徒が楽しく小中学校に通っている」と感じている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
79.5	87.6 81.8	87.6 81.1	87.6 76.8	87.6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	予算の縮小化が進んでいるが、各学校の実情に応じた予算編成を行い、さらに学校運営の工夫・努力により水準を保っている。



成果目標達成に向けた対応策等
各学校の実情を把握し、予算編成を行う。予算規模の縮小と必要経費の増大に伴い学校で自由度の減少が見られるが、これを補うため共同購入等による経費節減に努める。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	就学援助受給世帯教育支援給付金支給事業（小学校費）	事業期間	令和 5 ～ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	教育環境の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	概要：令和5年度佐賀市就学援助に認定された児童の保護者に対し、物価高騰の影響を受けている家計における教育費負担の軽減を図るため、児童1人当たり10,000円の給付金を支給する。 目的：就学援助の認定を受けた児童の保護者の教育費負担を軽減し、子どもの学びの機会を確保する。				
事業の対象者	令和5年度佐賀市就学援助の認定を受けた児童の保護者				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額				16,466	
うち佐賀市の負担額				0	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
就学援助受給世帯教育支援給付金を支給した児童数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
			1,630			
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>経済的理由によって就学が困難と認められる市内小学生の保護者（就学援助受給世帯）に対して、物価高騰による教育費負担の軽減を図ることができた。</p>
--

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中学校運営事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学校支援係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	教育環境の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校の運営や施設の管理に要する経費（消耗品費、燃料費、光熱水費、備品購入費、修繕料、検査手数料、施設等維持管理委託料、原材料費等）において、各学校の実情に応じた予算編成を行うことで、自主・自律性が発揮できる学校運営を図る。				
事業の対象者	中学校生徒				
令和5年度 主な活動実績	全中学校の物品の購入、光熱水費の支払い、施設の維持管理等を行い、円滑な管理運営を図った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	174,471	192,099	200,170	192,633	
うち佐賀市の負担額	156,775	191,608	199,630	192,013	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
「児童生徒が楽しく小中学校に通っている」と感じている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
79.5	87.6 81.8	87.6 81.1	87.6 76.8	87.6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	各学校の実情に応じた予算編成を行い、さらに学校運営の工夫・努力により水準を保っている。



成果目標達成に向けた対応策等
各学校の実情を把握し、予算編成を行う。またエアコンの使用やタブレットの全生徒配布などにより、電気使用量が増加傾向にあるため光熱水費などの節約に努め効率的な予算の執行に努める。

## 令和6年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	中学校新型コロナウイルス感染症対策事業	<b>事業期間</b>	令和 3 ~ 令和 5 年度
<b>担当部署・係名</b>	学事課 学校支援係	<b>担当課長名</b>	川副 清隆
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	<b>施策</b>	24就学前からの教育の充実	
	<b>基本事業</b>	教育環境の充実	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	中学校の生徒が新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に止めつつ、学校教育活動を継続できる環境を維持、学びが保障できる体制の整備のため、学校の感染者及び濃厚接触者の発生や学校における効果的な換気対策に必要な保健衛生用品や備品等の整備を行う。				
<b>事業の対象者</b>	中学校生徒				
<b>根拠法令等</b>	学校保健特別対策事業費補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>		19,359	23,061	6,983	
うち佐賀市の負担額		15	42	3,491	

### 2 事業の活動実績

<b>活動実績①</b>					<b>単位</b>	
整備を行った中学校数					校	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
	18	18	18			
<b>活動実績②</b>					<b>単位</b>	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>学校保健特別対策事業費補助金を活用し、主に換気対策に必要な消耗品及び備品等を整備することができた。</p>
--

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	学校マネジメント支援経費（中学校）	事業期間	平成 17 ～ 年度
担当部署・係名	学事課 学校支援係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	義務教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校の独自性を高める教育活動に係る事業を学校長からの申請に基づいて教育長が査定を行い、学校長の目標とする特色ある学校経営に資するものについて事業費を配分し、各学校が申請内容に沿った事業を実施するもの。				
事業の対象者	中学校生徒				
令和5年度主な活動実績	18校、62事業実施。小中連携事業、各種講演、進路指導など。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,443	1,224	1,373	1,308	
うち佐賀市の負担額	1,443	1,224	1,373	1,308	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
「児童生徒が楽しく小中学校に通っている」と感じている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
79.5	87.6 81.8	87.6 81.1	87.6 76.8	87.6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナ感染症対策等により、計画された事業の取りやめや、規模縮小等が完全に復活することはなかったが、現況に応じた変更等や新たな取り組み方法で対応できた。



成果目標達成に向けた対応策等
予算説明会の際に、他校の新たな取り組み事例を紹介するなどして、積極的・効果的にこの事業を活用させる。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	中学校就学援助事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	公平な教育機会の確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	経済的理由によって就学が困難と認められる市内中学生の保護者に対して、必要な経済的支援を行う。（援助費目：学用品費等、新入学用品費、修学旅行費、校外活動費、旅行費、給食費、医療費）				
事業の対象者	中学校に通う生徒のうち、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者				
根拠法令等	佐賀市就学援助規則等				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	84,218	81,786	95,995	95,415	
うち佐賀市の負担額	34,070	13,442	26,423	22,605	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
認定者数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
1,026	977	1,024	1,005			
活動実績②					単位	
認定率					%	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
19	18	19	18			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

平成29年度～令和3年度までは生徒数もしくは認定率の減少により認定者数も減少傾向だったが、令和4年～令和6年は一時的に生徒数が増える見込みのため、今後認定者数が増加に転じる可能性がある。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	特別支援教育就学奨励費（中学校）	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	公平な教育機会の確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	特別支援教育を受ける生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じて、特別支援学級への就学に必要な経費を支援する。（援助費目：学用品費・通学用品購入費、新入学生徒学用品費、修学旅行、校外活動費、給食費、通学費、職場実習交通費。家計の状況等により対象となる費目が異なる。）				
事業の対象者	特別支援教育を受ける生徒の保護者				
根拠法令等	特別支援学校への就学奨励に関する法律等				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	3,891	4,517	6,151	7,814	
うち佐賀市の負担額	1,945	2,259	3,076	3,907	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
特別支援教育就学奨励費を支給した生徒数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
118	137	159	198			
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>特別支援学級等へ就学する生徒は、年々増加しており、今後も生徒数及び支給額が増加することが見込まれる。</p>
---

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	通学費補助事業（中学校）	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	公平な教育機会の確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	富士町、大和町及び三瀬村の山間地域に在住し、遠距離通学を行っている生徒の保護者に対してバスの定期券代を補助する。				
事業の対象者	富士町、大和町及び三瀬村の山間地域に在住し、校区の佐賀市立中学校に通学する遠距離通学の生徒				
令和5年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学を行っている生徒の保護者に対して、バスの定期券代を支給した。（対象校：富士中、北山中）</li> <li>・土曜授業の際、バスを借り上げ運行した。（6/11）</li> </ul>				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,608	2,747	2,401	2,291	
うち佐賀市の負担額	2,608	2,747	2,401	2,291	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
通学費補助支給者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
29	30	30	30	30		
	30	25	24			

年度	目標	実績
R2	30	29
R3	30	30
R4	30	25
R5	30	24
R6	30	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	富士町、大和町及び三瀬村の山間地域に在住し、遠距離通学を行っている生徒の保護者に対してバスの定期券代を補助することで、学校の統合により遠距離通学となった生徒の教育の機会を確保している。

成果目標達成に向けた対応策等
事業対象者に対する補助金交付手続きに関し、学校との連絡調整を緊密に行う。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中学校教材整備事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学校支援係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	教育環境の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	一般教材や音楽教材、体育教材など学校の授業に必要な教材の整備や副読本の作成を行い、学校教育の振興及び教育の向上を図る。				
事業の対象者	中学校生徒				
令和5年度 主な活動実績	全中学校の物品の購入等を行い、教材整備を図った。学校独自の判断を取り入れ、各学校の実情や教育計画に応じた予算編成を行いつつ、備品や印刷物の購入においては、共同購入した場合にメリットがあるものについては学事課で一括購入を行い、経費の削減に努めている。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	71,133	46,285	43,516	41,571	
うち佐賀市の負担額	32,482	28,824	32,046	30,141	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
「児童生徒が楽しく小中学校に通っている」と感じている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
79.5	87.6 81.8	87.6 81.1	87.6 76.8	87.6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	予算の縮小化が進んでいるが、各学校の実情に応じた予算編成を行い、さらに学校運営の工夫・努力により水準を保っている。



成果目標達成に向けた対応策等
各学校の実情を把握し、予算編成を行う。予算規模の縮小と必要経費の増大に伴い学校で自由度の減少が見られるが、これを補うため共同購入等による経費節減を進める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

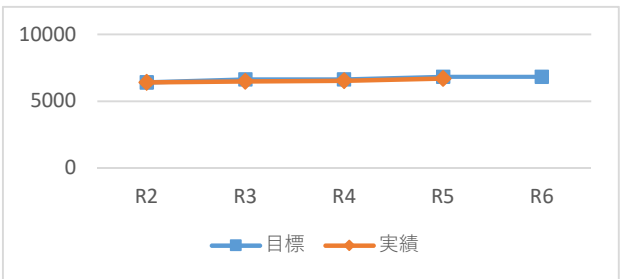
事務事業名	理科教育振興事業（中学校）	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	学事課 学校支援係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	教育環境の充実	

1 事務事業の基本情報

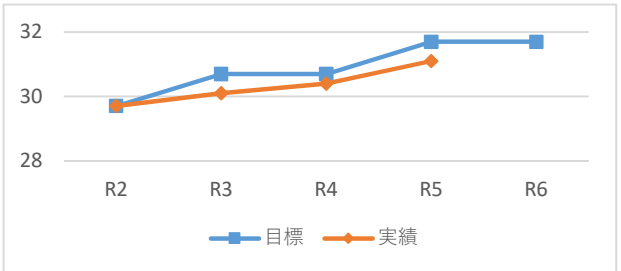
事業概要・目的	理科教育振興法の設置基準に定められている中学校の理科の授業に必要な備品を購入し、理科教育の振興を図る。				
事業の対象者	中学校生徒				
令和5年度 主な活動実績	小学校と中学校を隔年で整備している。令和5年度は中学校を整備。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額		3,650		3,551	
うち佐賀市の負担額		1,838		2,293	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
中学校 1 校当たりの理科備品現有額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6,398	6,608 6,483	6,608 6,536	6,823 6,684	6,823		



成果指標②						単位
中学校 1 校当たりの理科教材整備率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
29.7	30.7 30.1	30.7 30.4	31.7 31.1	31.7		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	基準金額の1%を隔年で整備しているが、購入から年数が経ち使用できなくなった備品については廃棄しているため、現有額が減少する学校もある。



成果目標達成に向けた対応策等
全校の実情を把握し、効果的な整備を行う。

令和6年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	就学援助受給世帯教育支援給付金支給事業（中学校費）	<b>事業期間</b>	令和 5 ～ 年度
<b>担当部署・係名</b>	学事課 学務係	<b>担当課長名</b>	川副 清隆
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	<b>施策</b>	24就学前からの教育の充実	
	<b>基本事業</b>	教育環境の充実	

1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	概要：令和5年度佐賀市就学援助に認定された生徒の保護者に対し、物価高騰の影響を受けている家計における教育費負担の軽減を図るため、児童1人当たり10,000円の給付金を支給する。 目的：就学援助の認定を受けた生徒の保護者の教育費負担を軽減し、子どもの学びの機会を確保する。				
<b>事業の対象者</b>	令和5年度佐賀市就学援助の認定を受けた生徒の保護者				
<b>根拠法令等</b>					
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>				9,898	
うち佐賀市の負担額				0	

2 事業の活動実績

<b>活動実績①</b>					<b>単位</b>	
就学援助受給世帯教育支援給付金を支給した生徒数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
			980			
<b>活動実績②</b>					<b>単位</b>	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>経済的理由によって就学が困難と認められる市内中学生の保護者（就学援助受給世帯）に対して、物価高騰による教育費負担の軽減を図ることができた。</p>
--

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	各種健康診断等実施事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 保健体育係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	17健康づくりの推進と保健・医療の連携	
	基本事業	疾病の予防と早期発見	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校医（内科、眼科、耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師を各学校に配置するとともに、学校医等による児童生徒や未就学児、教職員の健康診断等を実施することにより、児童生徒等の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施と健康に関する自己管理意識を高める。				
事業の対象者	小中学校の児童生徒及び教職員				
根拠法令等	学校保健安全法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	89,982	91,283	91,556	94,470	
うち佐賀市の負担額	89,215	91,256	91,531	94,448	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
児童生徒の健康診断実施回数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
282	278	278	274			
活動実績②					単位	
教職員の健康診断実施人数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
713	741	768	811			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

教職員の健康診断について、令和元年度から公立学校共済の人間ドック補助対象者の年齢制限が設けられ40歳以上となったため、健康診断受診者が増加した。今後も増加が見込まれる。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

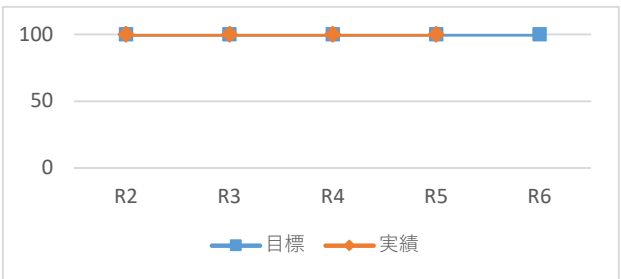
事務事業名	学校環境衛生改善事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 保健体育係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	17健康づくりの推進と保健・医療の連携	
	基本事業	疾病の予防と早期発見	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校環境衛生基準を満たす環境を保持するために、空気検査やプール水質検査等を実施し、児童生徒及び教職員等の健康維持を図る。				
事業の対象者	小中学校の児童生徒及び教職員				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室等の空気検査【ホルムアルデヒド】（小中学校52校（芙蓉校は合わせて実施））</li> <li>・プール水質検査（使用期間中に1か月に1回の頻度で実施）</li> <li>・ダニアレルゲン検査（年1回）</li> <li>・照度、採光検査 ほか</li> </ul>				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,027	2,669	2,540	2,614	
うち佐賀市の負担額	1,027	2,669	2,540	2,614	

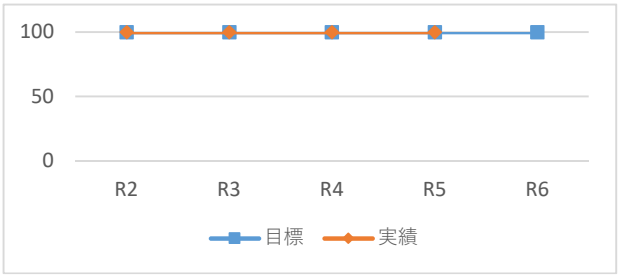
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
学校環境衛生検査により改善された割合（空気検査）						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100 100	100 100	100		



成果指標②						単位
プール水質検査により改善された割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100 100	100 100	100		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	空気検査やプール水質検査を確実に実施している。



成果目標達成に向けた対応策等
空気検査やプール水質検査を確実に実施し、学校環境衛生基準を満たす環境を保持する。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	フッ素応用むし歯予防事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 保健体育係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	17健康づくりの推進と保健・医療の連携	
	基本事業	疾病の予防と早期発見	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	むし歯の予防、及び歯の健康に対する意識の高揚を図ることを目的とし、学校でフッ化物洗口を実施する。				
事業の対象者	小中学校の児童生徒				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全小学校及び実施している2中学校（富士中、北山中）の児童生徒のうち10,502人が実施。</li> <li>週1回、年間約20回程度実施。</li> </ul>				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,087	973	973	980	
うち佐賀市の負担額	1,087	973	973	980	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
小学生のむし歯有症率の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
46.2	46 46.3	44 44.6	42 46.8	40		

成果指標②						単位
中学生のむし歯有症率の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
30.2	30 30.6	29 28.6	28 25.7	27		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	各学校ではおおよそ計画どおりにフッ化物洗口を実施することができ、また、むし歯有症率も減少傾向であるため、成果目標は概ね達成している。

成果目標達成に向けた対応策等
フッ化物洗口のむし歯予防効果を周知し、フッ化物洗口の実施率（人数、回数）を増やし、児童生徒のむし歯予防に努める。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

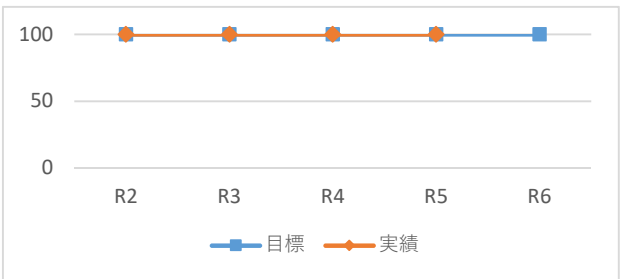
事務事業名	児童生徒安全対策事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	義務教育の充実	

1 事務事業の基本情報

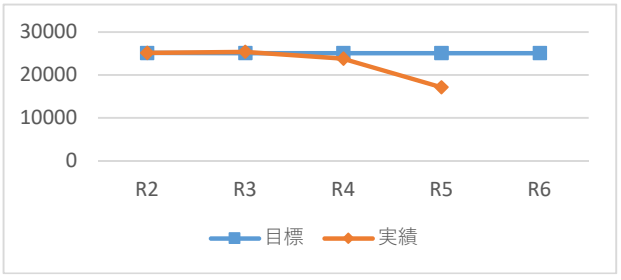
事業概要・目的	小中学校の児童生徒を対象に共済給付事業の災害給付（医療費、障害見舞金、死亡見舞金の支給）及び保険給付（学校賠償責任保険および学校災害賠償補償保険の保険給付）を行うことにより傷害等を被った児童生徒等及び第三者を救済する。				
事業の対象者	児童、生徒、園児及び第三者				
令和5年度 主な活動実績	児童生徒の保護者及び第三者の請求に基づき、災害給付及び保険給付を行った。 学校災害共済 給付件数 2,229件（発生件数 1,110件） 給付金額 1,716千円 賠償補償保険 給付件数 0件（発生件数 0件） 給付金額 0円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,720	18,665	21,773	18,358	
うち佐賀市の負担額	11,326	11,317	14,763	11,343	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
支給率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100 100	100 100	100		



成果指標②						単位
支給額（学校災害共済・賠償補償保険）						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
25,152	25,100 25,382	25,100 23,791	25,100 17,158	25,100		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	請求があった分について、規定通りの金額を100%支給しているため、成果目標は達成している。



成果目標達成に向けた対応策等
保護者へすみやかな給付が行えるよう、学校への災害報告書提出に関する注意喚起を行っていく。 制度に関するチラシの配布や説明会等での保護者への制度の周知を行っていく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種体育行事等実施事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校体育の充実や部活動の支援を目的として、佐賀市中学校体育連盟に補助金を交付する。学校プールに関する研修会の実施、運動能力テストや体力テストの集計・とりまとめ等を行う。				
事業の対象者	小中学校の児童生徒				
令和5年度 主な活動実績	佐賀市中学校体育連盟に補助金を交付 ・佐賀市中学校体育連盟育成事業補助金 1,450,000円 ・佐賀市中学校各種大会選手派遣補助金2,272,808円（出場者数：6,258名）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,154	9,659	8,885	3,730	
うち佐賀市の負担額	3,194	4,201	3,857	3,730	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市県大会出場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5,060	6,800 6,723	6,800 6,534	6,800 6,258	6,800		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	出場者数は約300人減少したが、大きな減少ではないため。



成果目標達成に向けた対応策等
運動部としての活動成果を発揮する機会をより多く提供できるよう補助を続ける必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	学校体育外部指導者派遣事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中学校の運動部活動において、実技に堪能な外部からの指導者を派遣することにより、スポーツ技術の向上と地域社会との連携を進め、また、部活動の本来の目的である生徒の心身の健全育成と同時に社会性を高める。				
事業の対象者	運動部に加入している生徒及び顧問				
令和5年度 主な活動実績	運動部へ12校30人の外部指導者を派遣した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	882	874	800	778	
うち佐賀市の負担額	882	874	800	778	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀県中学校総合体育大会上位入賞数						校
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
—	80 77	80 73	80 94	80		

成果指標②						単位
活動人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
22	20 20	20 20	20 30	20		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	大会上位入賞数は100%超、活動人数は100%超の達成率となり、スポーツ技術の向上と地域社会との連携の目標を達成している。



成果目標達成に向けた対応策等
専門的技術を持った外部指導者を派遣することで、スポーツ技術はアップし、成長に合わせた練習メニューを提供できているが、部活動の教育的目標を忘れ、勝利至上主義に陥ることのない指導を求めていく必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	部活動指導員活用事業	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 学務係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中学校の部活動顧問教員の負担軽減と生徒の多様なニーズに対応した部活動指導体制の充実を図るために、部活動指導員を配置する。				
事業の対象者	佐賀市立中学校の運動部及び文化部の生徒及び顧問				
令和5年度 主な活動実績	5名の部活動指導員を派遣した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,445	1,153	1,967	1,812	
うち佐賀市の負担額	592	465	732	692	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
顧問の負担軽減に効果があったと回答した学校の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	100 100	100 100	100 100	100 100		

成果指標②						単位
						時間
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	アンケートの結果から顧問を含めた教職員の負担軽減につながっていることがわかり、また、指導を受けた生徒への社会性を育む教育的効果も認められる。



成果目標達成に向けた対応策等
現状を維持しつつ、部活動の地域移行の動向を見ながら、部活動にかかわる外部の人材の活用、部活動の集約や拠点校化など部活動のあり方の検討状況と歩調を合わせて事業を展開する必要がある。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	学校給食管理運営事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	学事課 保健体育係	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	安全な給食の提供と食育の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校給食室及び給食センターの円滑かつ衛生的な管理運営を行い、安全・安心な給食の提供と子どもたちの食育の推進を図る。				
事業の対象者	給食実施校の児童・生徒				
令和5年度主な活動実績	学校給食室（24校）及び給食センター（5センター）の管理運営を行った。 ・衛生的な給食提供に要する検便検査、食材等の細菌検査、清掃や害虫駆除等の業務委託 ・学校給食の調理、運搬、洗浄、清掃の民間委託 ・安全な給食提供や食育等に関する各種講習会の実施、ほか				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	752,970	794,773	817,632	859,310	
うち佐賀市の負担額	752,966	794,773	817,632	859,310	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
給食の安全・安心提供率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100 100	100 100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	給食施設や備品の衛生的な管理に努め、安全で安心な食材による給食提供が確実に実施されており、成果目標は達成している。



成果目標達成に向けた対応策等
安全で衛生的な食材の提供をはじめ、給食施設や備品等の定期的な整備・点検や調理に係る十分な人材の確保等、安心・安全な給食提供に努める。

令和6年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	学校給食物価高騰等対策事業	<b>事業期間</b>	令和 4 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	学事課 保健体育係	<b>担当課長名</b>	川副 清隆
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	<b>施策</b>	24就学前からの教育の充実	
	<b>基本事業</b>	安全な給食の提供と食育の推進	

1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	新型コロナウイルス感染症の長期化等による物価高騰の影響を受けた学校給食において、安定した給食運営を行うため、①令和5年度に値上げした給食費及び②牛乳の値上がり相当分の補助を行った。 ①1食あたりの補助額 小学生（完全給食）25円、中学生（完全給食）30円、中学生（選択制給食）20円 ②補助額 牛乳1本あたり 5円				
<b>事業の対象者</b>	各学校給食運営委員会、各学校給食センター運営委員会				
<b>根拠法令等</b>	佐賀市学校給食費補助金交付要綱、佐賀市学校給食（牛乳）物価高騰対策補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>			51,929	82,442	
うち佐賀市の負担額				18,491	

2 事業の活動実績

<b>活動実績①</b>					<b>単位</b>	
補助を行った学校・学校給食センターの数					施設	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		29	39			
<b>活動実績②</b>					<b>単位</b>	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給食費値上げ分等の補助を行い、安定的に学校給食を提供できた。令和6年度については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和5年度と同等程度の補助（令和5年度の給食費値上げ額及び牛乳の値上がり相当分）を行う。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	三瀬小中学校給食提供体制変更経費	事業期間	令和 5 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	学事課	担当課長名	川副 清隆
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	安全な給食の提供と食育の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	三瀬小中学校の学校給食の提供を、三瀬学校給食センターから富士学校給食センターに変更するための体制整備を行う。				
事業の対象者	富士学校給食センター、三瀬小中学校				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額				4,766	
うち佐賀市の負担額				4,766	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
給食提供可能施設数					箇所	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
			9			
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

必要な備品や消耗品の購入、関係施設の工事や修繕により、三瀬小中学校の学校給食の提供を、富士学校給食センターで行うことができました。